

石綿（アスベスト）含有建材の特徴

建 材 名（一般名） （通 称）	石綿含有住宅屋根用化粧スレート コロニアル、カラーベスト
---------------------	---------------------------------

規 格 等


- ・ JIS A 5423 住宅屋根用化粧スレート
- ・ JIS G 3532 鉄線（固定用釘）
- ・ JIS H 8641 溶融亜鉛めっき

製造期間

- ・ 製造開始は、1961 年である。
- ・ 製造終了は、2004 年である。

建材の特徴

○性質、寸法、形状など

- ・ セメントに補強材として各種の繊維材料を混入し、平板状等に成形した屋根材である。
- ・ 石綿が補強材として使われていたが、近年では石綿粉塵の人体への有害性が指摘され、石綿以外の補強繊維を用いた製品が流通している。
- ・ 形状は五角形（）、寸法は厚さ 5mm、幅約 420mm、長さ約 910mm の製品が一般的である。高級タイプとして厚さ 6mm の製品もごくわずかだが使用されている。
- ・ 色柄は、濃い色彩（黒系、茶系）が多く使用されているが、約 20 数色の製品がある。また、水流れを容易にする目的とデザイン面から表面に軽微な模様（凹凸）が施されている。

○主な施工部位、使われ方など

- ・ ほとんどが屋根材として使用されているが、一部外壁に使用される場合がある。
- ・ 施工法の概要
各メーカーは、施工地域の気象条件等から屋根勾配と流れ長さの基準や、各部の標準ディテールを設定している。基本的にはその仕様に基づいて施工する。
以下に、各メーカーにほぼ共通した施工法を示す。
 - ①製品厚さが薄く、踏み割れし易いことから、野地板は平滑な合板を使用し、隙間無く張りつめる方法が多い。
 - ②葺き足及び重なり代は、JIS A 5423（住宅屋根用化粧スレート）の規定に準じている。
 - ③固定する釘は、JIS G 3532（鉄線）、JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）の規定に準じている。
 - ④強風地域や、耐風耐力を必要とする場合は、接着剤の使用、若しくは増釘による取り付け強化がなされている。

施工例



- ・ 1989 年～2004 年の間に製造された製品には、概ね“a”マークが表示されている（全数でなく数枚に一枚表示されて

いる製品も有る)。

リフォーム（メンテナンス）関連

- ・長期の供用による表面塗装が無くなっても屋根の性能には問題はないが、退色した場合、あるいは美観上の理由で（10年位で）再塗装するケースが多い。この際、当初の色調を変更する例がある。
-